

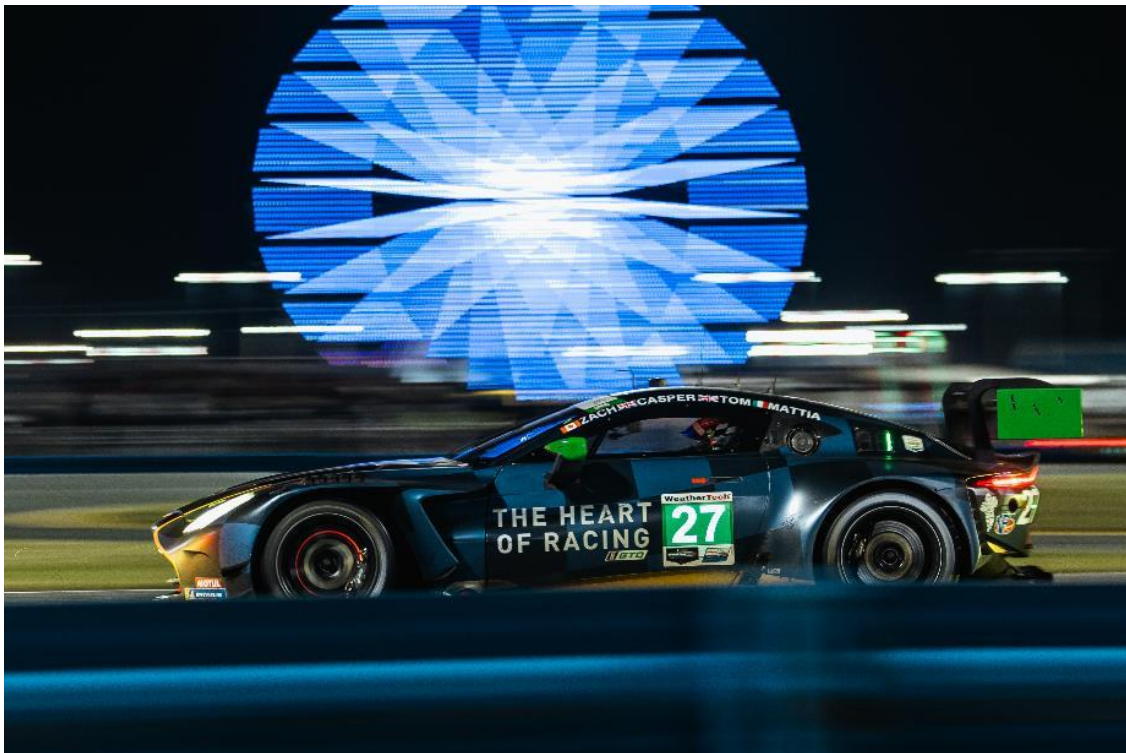
報道関係各位



アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン Vantage、IMSA シーズンの 開幕を飾る過酷なデイトナ 24 時間レースにて 劇的な逆転で表彰台を獲得

- 北米で最も名高い耐久レース、ロレックス・デイトナ 24 時間レースでアストンマーティンが見事に GTD 表彰台獲得
- 新型 Vantage GT3 のデイトナ初表彰台を決めたのは Heart of Racing
- 英国のウルトラ・ラグジュアリー・ハイパフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンにとってロレックス・デイトナ 24 時間レースでは 4 年間で 4 度目の表彰台
- Van der Steur Racing は IMSA GTD デビューで 6 位獲得



2025 年 1 月 27 日、デイトナ・インターナショナル・スピードウェイ（米国）：
先週末、世界的に有名な米国フロリダ州のデイトナ・インターナショナル・スピードウェイで
2025 年 IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権が幕を開け、いくつものレースで勝利を

収めてきたアストンマーティンの新型 **Vantage GT3** が、北米随一の耐久レースとして知られるロレックス・デイトナ 24 時間レースで表彰台を獲得しました。

Heart of Racing が最終盤に心揺さぶる反撃を見せ、27 号車 **Vantage GT3** で GTD クラス 3 位を獲得する一方、本シリーズ初参戦の **Van der Steur Racing** も快挙を挙げ、GTD の上位 6 位にアストンマーティンが 2 台入る結果となりました。今回の成果に続き、次回 3 月に開催されるセブリング 12 時間レースでは、**Heart of Racing** から出場する最新のアストンマーティン **Valkyrie** が、IMSA 最上位カテゴリーの GTP でデビュー戦を迎えます。

2025 年、FIA 世界耐久 (WEC) と IMSA の両選手権に挑む中でワークスの **Valkyrie** プログラムを主導する、フェニックスを拠点とするアストンマーティン・レーシングのパートナーチーム **Heart of Racing** は、24 時間を通して GTD クラスを先導する集団に入っていました。グリッド 7 番手からスタートしたザカリー・ロビション (カナダ)、トム・ギャンプル (英国)、マッティア・ドゥルディ (イタリア)、キャスパー・スティーブソン (英国) は同クラスのライバルたちのほとんどと異なるピットシーケンスで走行し、スタートから 4 時間経過した時点ではクラスの先頭を率っていました。

これにトラックでの快調なスピードと素晴らしいピット作業が加わり、残り 3 時間でライバルによるスピンでコースアウトして 6 位に落ちたときも、まだ表彰台を狙えるポジションにありました。レース最終盤の最終スティントを巧みに走り切ったアストンマーティンのワークスドライバー、ドゥルディの猛攻で 27 号車 **Vantage** は順位を上げ続け、残り 30 分になると熾烈な三つ巴の戦いに加わっていました。

劇的な盛り上がりを見せた最後の 20 分には何度か先頭を奪いながらも、ドゥルディが自身の IMSA デビュー戦にて 3 位のチェッカーフラッグを受け、アストンマーティンで最も成功を収めているレーシングカー、**Vantage GT3** の最新バージョンがデイトナ初の表彰台を獲得しました。

ウルトラ・ラグジュアリーなロードカーである **Vantage** と同じ機械的アーキテクチャを採用する **Vantage GT3** にとっては、これまでのバージョンを含め、4 年間で 4 度目の表彰台獲得となります。アストンマーティンの実績ある接着アルミシャーシを中心に組み立てられ、恐るべき 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを動力源とする **Vantage GT3** は、世界を制するポテンシャルを備えています。

Heart of Racing とともにデイトナの上位 6 位に入ったのは、IMSA ミシュラン・パイロット・チャレンジ 2 シーズンにわたり **Vantage GT4** で目覚ましい活躍を見せた後、今回 GTD デビューを果たした **Van der Steur Racing** です。24 時間を通して好調な挑戦を続けていたのは、アストンマーティンのワークスドライバー、ヴァランタン・アス・クロー (フランス)、マキシム・ロビン (フランス)、アンドリュウ・マッキントッシュ (カナダ)、ローリー・ヴァンダー・スチュア (米国) の 4 人組です。3 時間経過時点からトップ 10 周辺を維持していまし

たが、レースが残り4分の1となってからペースを上げて勢いを増し、アス・クローが1位との差8秒の6位でフィニッシュを決めました。

Heart of Racingのチーム代表イアン・ジェームズは、次のように述べています。「ロレックス・デイトナ24時間レースを快挙で終えることができました。ここはチームにとって特別な場所であり、表彰台に上ることができたのは素晴らしい成果です。両方の車両のクルーの全員が本当に一丸となって、力を最大限発揮できました。チームはやるべきことを100パーセント遂行し、残り15分には先頭を走ることもできました。勝利が見えると思われた瞬間もありましたが、表彰台でIMSAシーズンをスタートできたのはとても幸先が良いと思います。」

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べています。「Vantageにとっては4年間に4度目、新型モデルになってからは初めてのロレックス・デイトナ24時間レースの表彰台獲得を非常にうれしく思います。Heart of Racingは今回のレースで最も速く、最も準備の整ったチームの一つであり、困難な場面に直面しながらもレース戦略を見事に適応させて反撃し、先頭に戻ってきました。Van der Steur Racingの6位フィニッシュも、出場台数の多いGTDカテゴリーでのデビュー戦として目覚ましい成果です。それを成し遂げたことは、彼らの努力を証明するだけでなく、アストンマーティンがAMRのパートナーチームに提供する深い技術サポートと、Vantageというプラットフォームの力強さと扱いやすさも反映しています。両チームに祝福を送ると同時に、今年の選手権の今後のラウンドでも、さらに多くの成功を共有したいと願っています。」

IMSAシーズンは次回、アストンマーティンValkyrieがシリーズデビューを飾る、2025年3月15日（土）開催のモービル1セプリング12時間レースへと続きます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-tfJsTpsTUI>

アストンマーティン・ラグondaについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュ

ュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025年から2030年**にかけて、**PHEVとBEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーと**SUV**のラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で**50以上**もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリー**SUV**の**DBX**は、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、**2030年**までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは**1899年**に設立され、**1947年**にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「**Aston Martin Lagonda Global Holdings plc**」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ**1®**チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp